

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	150,000,000	0	0	150,000,000
小計	150,000,000	0	0	150,000,000
特定資産				
世界大会積立預金	59,000,000	23,700,000	59,000,000	23,700,000
55周年記念積立預金	2,000,000	0	0	2,000,000
60周年記念積立預金	30,000,000	0	0	30,000,000
システム再構築準備預金	30,000,000	0	8,195,000	21,805,000
会計システム変更準備金	9,636,257	1,050,000	3,347,865	7,338,392
少子化対応準備金	46,366,013	0	46,366,013	0
小計	177,002,270	24,750,000	116,908,878	84,843,392
合計	327,002,270	24,750,000	116,908,878	234,843,392

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
基本財産引当預金	150,000,000	(150,000,000)	—	—
小計	150,000,000	(150,000,000)	—	—
特定資産				
世界大会積立預金	23,700,000	—	(23,700,000)	—
55周年記念積立預金	2,000,000	—	(2,000,000)	—
60周年記念積立預金	30,000,000	—	(30,000,000)	—
システム再構築準備預金	21,805,000	—	(21,805,000)	—
会計システム変更準備金	7,338,392	—	(7,338,392)	—
小計	84,843,392	—	(84,843,392)	—
合計	234,843,392	(150,000,000)	(84,843,392)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	9,884,964	3,719,885	6,165,079
小計	9,884,964	3,719,885	6,165,079
合計	9,884,964	3,719,885	6,165,079

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
審判講習会振興補助金	(公財)日本野球連盟	0	100,000	100,000	0	
合計		0	100,000	100,000	0	

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため省略しております。